



Sunday School クラスルーム

日本キリスト教団 荻窪清水教会 日曜学校だより No.35 2023. 5. 28 発行

「悪から助けて！」

ヨハネによる福音書16章25～33節

ごきげんよう!

牧師 梅津 裕美

みなさま、どうぞお気をつけて! この世界には、お年寄りや弱い人をだます手口がはびこっているようです。くれぐれもうまい話にだまされないように!ご注意ください。「美味しい水はこっちだよ～」と言って、神さまの「いのちの水」から引き離そうとする誘惑がたくさんあります。

そうですね。人の弱さや善意を利用して、楽にお金をゲットしようという悪い奴らがいるのです。でも、報道に耳を開くと、悪い奴らにはボスがいる、そのボスに自分の弱みを握られて、どうしても悪魔の巣窟から出られなくなってしまった若者たちが大勢いると言うではありませんか。わたしはこういう報道を聞くと、生きづらさを抱えている若者たちのことを想って祈ります。毎日の暮らしの中で悪魔に誘惑されることが無いように、どうか誘惑に打ち勝つ知恵と力を与えてくださいと手を合わせます。

イエスさまがお弟子さんたちに教えてくださった「主の祈り」の中には「我らをこころみに合わせず、悪より救い出したまえ」という祈りがあります。これは、人間が弱いものだとして認めて祈る言葉です。神さまから引き離そうとする「悪」が私たちにつきまとっていることを自覚する祈りです。ついつい「自分は大丈夫」と万能感を抱いてしまう人間に、全能で罪人まで愛し抜く神さまの助けがなければ、滅んでしまう弱い者だと自覚させる言葉なのです。

十字架に向かわれるイエスさまは、お弟子さんたちと最後のお食事(最後の晩餐)をされました。お弟子さんたちの汚れた足を洗って、その最後に励ましの言葉を言われました。「勇気を出しなさい」「元気を出しなさい」「安心しなさい」。この時イエスさまは「わたしはすでに世に勝っている」からあなた方を試練や悪から救い出すことができると、罪に勝利する十字架をはっきりと示しておられたのです。



堀内長老からのメッセージ

6月18日の礼拝から使徒信条について約3か月学びます。使徒信条は2世紀ころ、教会で洗礼を受ける時に信仰を言い表すことから始まり、5世紀には今のように決まった文章になったと考えられています。1,600年以上も前にできた使徒信条、しかし、今も変わらず使徒信条は私たちにとって大切なのです。A神学生が4月から所属している代田教会(世田谷区)の平野克己先生が使徒信条についての本を昨年出しましたが、その中にこのように書かれています。

「使徒信条が洗礼から始まる信仰という名の旅を導く生活の言葉である。その旅には罪と死と悪魔の力との戦いが不可欠である。新型コロナウイルス感染症、世界各地のひどい出来事、あらゆるかたちの暴力が吹き荒れる日本社会の動向など、最近の出来事を思うたびに使徒信条の重要性を痛感する」

今の私たちにとって、1,600年前と少しも変わらず大切な使徒信条、その言葉の一つ一つの意味を聖書のみ言葉を通して聞きましょう。